PATISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA

株式会社 原田　ガトーフェスタ ハラダ

2023年度 環境経営レポート

2024.11.25 作成

≪ご挨拶≫

株式会社 原田は1901年（明治34年）創業より123年の長きにわたって皆様よりご愛顧をいただいております。和菓子の製造業者として発足してから、パン・洋菓子製造業に着手し、今日では、ご好評いただいておりますラスク「グーテ・デ・ロワ」を始めとする、総合洋菓子メーカーとして信頼される企業を目指しております。

この事業の拡大につれて、地球環境に与える影響も大きくなる事を受け止め、全社で次項の環境方針を掲げ、地球環境に優しい企業となるべく、2013年3月にエコアクション21の認証を受けました。また、2014年より、新たに稼動した高崎工場も管理対象とし、2016年は直営店舗である中山道店、ららん藤岡店にも活動を拡大しています。2019年10月には高崎工場 に全館LED照明・最新の省エネトップランナー設備を導入した西棟が竣工し、新町本社第２工場から生産ラインの移転、及び繁忙期に対応できる倉庫として稼働を始めました。更に、2020年2月に中山道店を新築移転しました。

以下、本取り組みを「環境経営レポート」としてまとめました。多くの皆様より、ご高覧、ご指導、ご指摘をいただき、環境活動への更なる取り組み、意識向上に活かしていきたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社 原田

代表取締役社長

原田　義人

≪目次≫

1.環境経営方針 P-01

2.事業活動の規模 P-02

3.環境経営システムの実施体制 P-04

4.環境経営目標とその実績 ((1)CO_2：P-07・(2)廃棄物：P-11・(3)水：P-15) P-06

5.太陽光発電実績 P-19

6.食品残渣のリサイクル状況 P-20

7.グリーン購入 P-21

8.自然を守るための尾瀬への支援 P-22

9.社内教育等の実施状況 P-23

10.環境関連法規制の順守 P-24

11.代表者による全体評価と見直し・指示の結果 P-25

エコアクション　イベント P-26

1.環境経営方針

〔基本理念〕

私たちの使命は、人々の暮らしに感動を呼び起こすことのできる高品質にして価値のある商品を創造し、真心のこもったサービスとコミュニケーションを提供する経営の実現にあります。そして、千寿万世を実現するため、私たちは日々の企業活動において、地球環境の保全を配慮するよう努めます。

〔基本方針〕

私たちは、食品製造を主とする企業活動において、以下の基本方針で地球環境の保全に取り組みます。

1.心の豊かさを享受できる地域社会の創生のために、事業活動を通じ、様々な社会貢献活動、環境保全活動に取り組んでいきます。

2.企業価値向上ツールとして、エコアクション21の取り組みのための環境経営システムを構築し、カーボンニュートラルの実現に向かう潮流に対応するよう着実に運営します。

3.環境経営実践のためのPDCAサイクルを備えたマネジメントの普及を進め、実効性を高め、事業活動における更なる環境配慮の促進を図っていきます。

4.環境関連の法令や国際規約、業界のルールを遵守します。

5.原材料、水、エネルギーの効率的使用に努め、CO2の排出、排水、廃棄物の削減、再生、再利用に取り組みます。

6.この環境経営方針を社内外に公表するとともに、社員の環境保全意識を高める教育を行います。

２０１２年 ３月 １日 制定
２０２１年 ３月 １日 改定
株式会社 原田
代表取締役社長
原田　義人

2.事業活動の規模

1.事業所及び代表者名
　　株式会社 原田
　　代表取締役社長　原田　義人

2.所在地

本社工場	〒370-1301	群馬県高崎市新町1207
高崎工場	〒370-0854	群馬県高崎市下之城町584－8
中山道店	〒370-1301	群馬県高崎市新町 2818
ららん藤岡店	〒375-0005	群馬県藤岡市中字広町1131－8

3.環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
　　環境経営責任者　　：代表取締役社長　　原田　義人
　　環境管理責任者　　：取締役副社長　　原田　司
　　ＥＡ２１事務局担当：生産本部長　　奥泉　敬
　　TEL：0274-40-3331
　　FAX：0274-40-3341

4.対象範囲
　　2013年度　本社工場及びその敷地内の販売店舗を対象とする
　　2014年度　高崎工場を実績把握の対象とする
　　2015年度　高崎工場もエコアクション21認証を取得する
　　2016年度　直営店舗（中山道店、ららん藤岡店）も対象とする（全組織・全活動）
　　2019年度　高崎工場の西棟を対象とする

5.レポートの対象期間
　　2023年4月～2024年3月

6.事業の内容
　　洋菓子（主にラスク、焼菓子）の製造・販売

7. 活動規模

新町本社工場

	単位	2022年度	2023年度
総生産高	百万円	6,506	6,922
従業員数	人	291	292
延床面積	㎡	17,185	17,185

新町本社工場

高崎工場

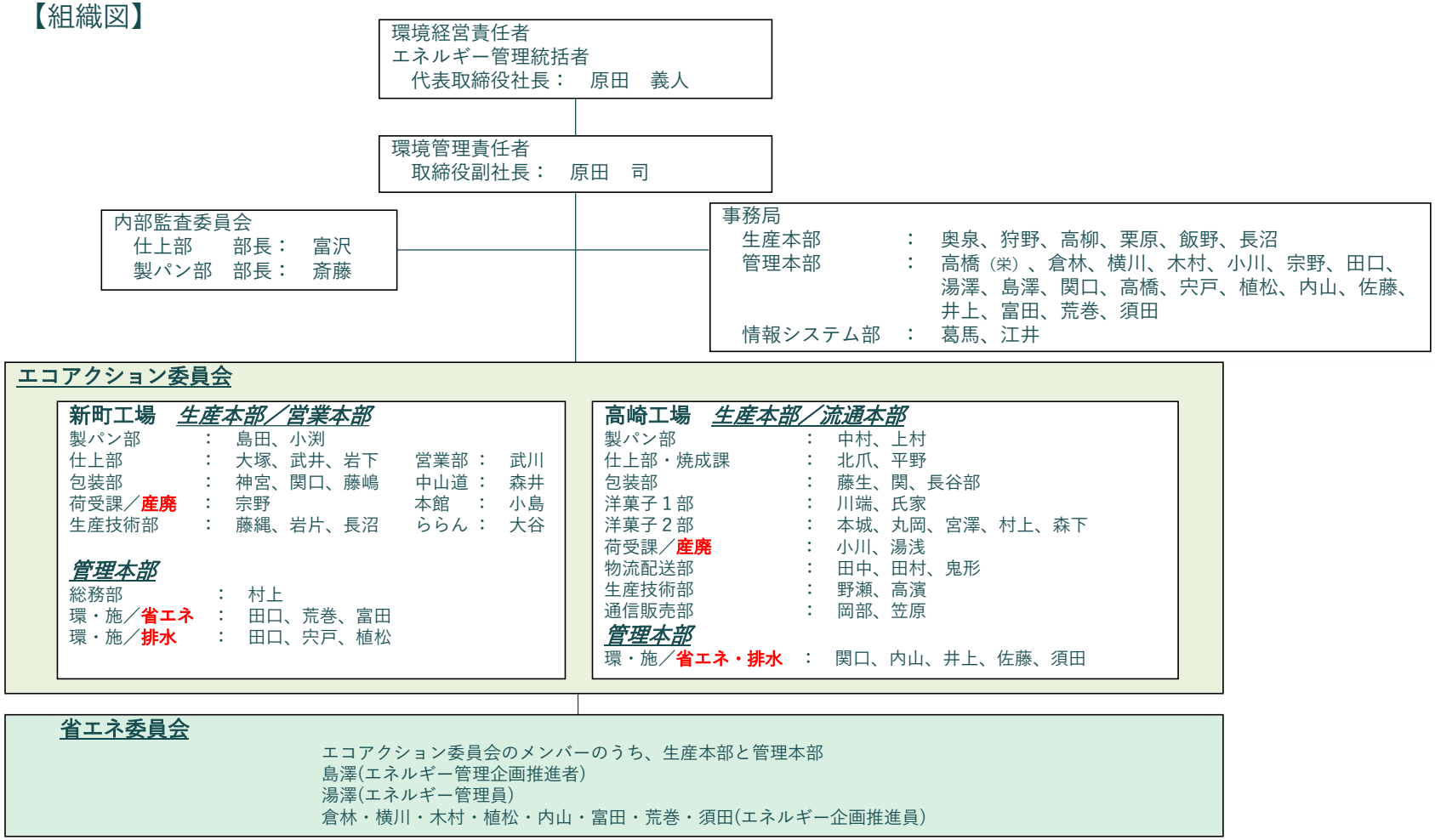
	単位	2022年度	2023年度
総生産高	百万円	13,015	14,377
従業員数	人	414	438
延床面積	㎡	50,199	50,199

高崎工場

※2013年度より高崎工場が稼働し、工場別総売上高の把握ができないため、総生産高に変更致しました。
※従業員数は新町本社工場・本館・高崎工場・中山道店・ららん藤岡店の人数(派遣は含まず)、短時間パートは0.5人で集計しています。
※新町本社工場の建物の面積は、新町倉庫を含んでいます。
※当社の環境経営レポート年度期間は4月1日から翌年3月31日です。
※2013年度5月より、高崎工場が稼働したことにより、新町本社工場の生産量は減少しています。
※2019年度10月より、高崎工場西棟（延床面積14,883㎡）が稼働したことにより、延床面積の数値が変更となりました。

3.環境経営システムの実施体制

【組織図】



【責任と役割】

環境経営責任者	・環境方針の策定 ・資源(人/物/金)の用意 ・評価、見直しの指示
環境管理責任者	・システム運用の責任者 ・システム運用に関する提案、報告等に対する承認 ・代表者への定期報告
事務局	・社内教育 ・活動記録 ・エコアクション管理項目の分析及び削減 ・省エネ活動の推進及び管理 ・エコアクション部内会議を毎月開催 ・環境レポート作成
エコアクション委員会	・部門活動(PDCA全般にわたる活動を行う) ・連絡会出席

4.環境経営目標とその実績

当社における前年の環境負荷実績を把握し目標を定め、
2023年4月1日～2024年3月31日に活動を実施いたしました。

主な内容

環境経営目標

①CO_2	2022年度比　1　％削減
②廃棄物	2022年度比　1　％削減
③水	2022年度比　0.5％削減

環境負荷・実績

環境経営実施・評価事項

実績は、2023年4月1日～2024年3月31日の1年間のデータです。

両工場の、電気使用量からCO_2排出量を算出した係数は以下の通りです。

東京電力エナジーパートナー(株)　…　0.451（kg-CO_2/kWh）

東京ガス(株)　…　0.442（kg-CO_2/kWh）

これは、2023年12月22日に環境省・経済産業省が公表した電気事業者別排出係数です。

CO_2削減〔工場全体〕 目標　2022年度比　1　%削減

2023年度 実績

301.65 (kg-CO_2/百万円)

6,425(ton) / 21,299(百万円)

(総量)　(生産金額)

2022年度 実績

324.31 (kg-CO_2/百万円)

6,331(ton) / 19,521(百万円)

※比較のため2022年度の実績も2023年度と同じ電気事業者別排出係数を使用しています。

前年比6.98%減

環境経営推進項目

①LED化の推進
②設備機器更新（新町工場コンプレッサー２台）
③エアコン修理(熱交換器・圧縮機・基盤交換等)
④社有車のエコドライブ・点検・整備
⑤エネルギー使用量の集計・分析・削減方法の検討
⑥設備機械の点検・修理
⑦生産設備スチームトラップ交換
⑧空調温度の適正化
⑨トップランナー設備の導入

環境経営実施・評価事項

両工場の省エネ活動は、環境経営推進項目に則り各部門において省エネ目標を定め、PDCAのサイクルで検証を行いながら実施した結果、生産に対する消費エネルギー効率が向上し、２０２３年度目標1%削減に対しCO_2原単位が前年対比6.98%と大幅な削減となりました。

CO_2削減〔新町本社工場〕 目標　2022年度比　1　%削減

2023年度 実績
317.10 (kg-CO_2/百万円)
2,195(ton) / 6,922(百万円) (総量)　(生産金額)

2022年度 実績
334.61 (kg-CO_2/百万円)
2,177(ton) / 6,506(百万円)

※比較のため2022年度の実績も2023年度と同じ電気事業者別排出係数を使用しています。

前年比5.23%減

環境経営計画評価事項

新町本社工場の省エネ活動は、コンプレッサー2台の更新と工場内照明LED化(76台)、エアコン熱交換器及び圧縮機交換、エアコンの薬品洗浄(上期：117台・下期126台)、CIPポンプをトップランナーに変更、シューベルト及び包装機及び冷却コンベアの更新、トンネルオーブン炉内照明LED化、調整槽ポンプ交換、投入機洗浄作業削減（4Fラスクライン→ホワイトチョコライン直結による）...等を積極的に進めてきました。

前年度と比較して、生産高は416百万円増加(約6.39%増)となり、省エネ活動の効果もあって、CO_2原単位の前年比を大幅に減少(5.23%減)させることができました。

CO_2削減〔高崎工場〕 目標　2022年度比　1　%削減

2023年度 実績
294.21 (kg-CO_2/百万円)
4,230(ton) / 14,377(百万円) (総量)　(生産金額)

2022年度 実績
319.17 (kg-CO_2/百万円)
4,154(ton) / 13,015(百万円)

※比較のため2022年度の実績も2023年度と同じ電気事業者別排出係数を使用しています。

前年比7.82%減

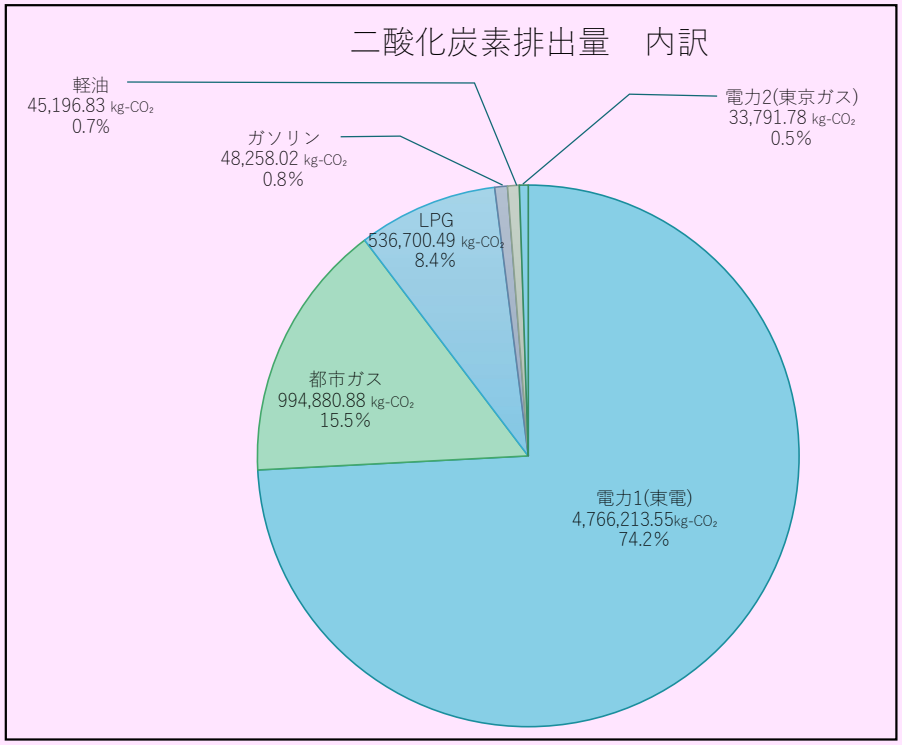
環境経営計画評価事項

高崎工場の省エネ活動は、エアコン修理(熱交換器交換・室内機・圧縮機交換)及び薬品洗浄(上期：238台・下期：228台)、照明のLED化(799台)、排水処理設備のポンプ交換、夏季は西棟チラーの電源をOFF、小麦粉保管（サイロ）部屋のエアコンを停止し代替で製氷機導入(夏季)、チョコ保管場所を1ヶ所に変更し西棟包装部エリアのエアコンを停止(夏季)、コンプレッサーのオーバーホール、汽水混合栓の修理、生産設備スチームトラップの交換...等を積極的に進めてきました。

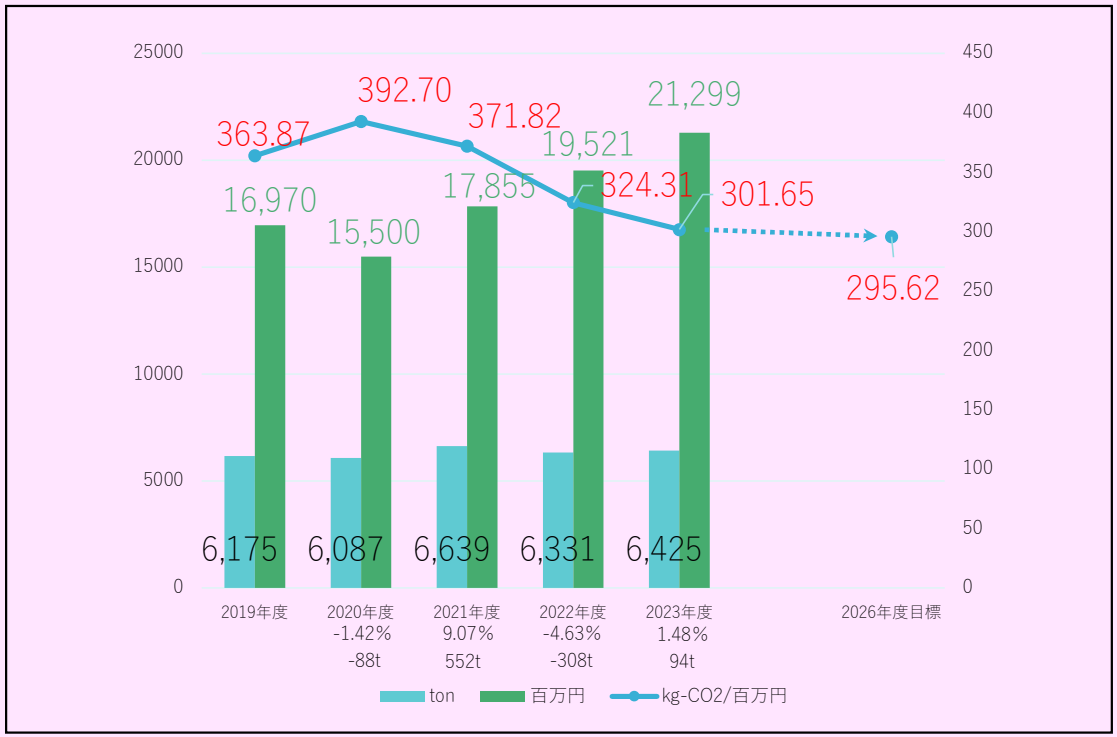
前年度と比較して生産高は1,362百万円増加(約10.46%増)となり、原単位の前年比は7.82%減となりました。

CO_2削減〔工場全体〕

6,425,041.55 kg-CO_2



二酸化炭素排出量と生産高の推移



廃棄物〔工場全体〕

目標　2022年度比　1　%削減

2023年度 実績	2022年度 実績
27.41 (kg-CO_2/百万円)	28.94 (kg-CO_2/百万円)
584(ton) / 21,299(百万円) (総量)　(生産金額)	565(ton) / 19,521(百万円)

前年比5.28%減

環境経営推進項目
①分別ルールの徹底及びリサイクル化の推進
②廃棄物種類ごとの置場の整備
③廃棄物種類・排出量の管理及び削減方法の検討（歩留率の向上）
④食品循環資源（残渣）の再生利用の検討

環境経営実施・評価事項
両工場の廃棄物は、環境経営推進項目に各部署の改善活動・分別意識の向上と生産高の増加により、２０２３年度目標1%削減に対し前年対比5.28%減となりました。

廃棄物〔新町本社工場〕 目標　2022年度比　1　%削減

2023年度 実績
27.88 (kg-CO_2/百万円)
193(ton) / 6,922(百万円) (総量)　(生産金額)

前年比2.44%減

2022年度 実績
28.58 (kg-CO_2/百万円)
186(ton) / 6,506(百万円)

環境経営計画評価事項

除害施設から引き抜かれた汚泥は、前年度35.3トンに対し今年度52.2トンとなり約17トン増えましたが、廃プラ約5.4トン・一般可燃物約3.2トン減りました。また食品残渣は前年度700kgでしたが今年度460kgと240kg 減となり、各部署の創意工夫・協力のもと、前年比約34%減を達成することが出来ました。

工場見学来館者数が前年対比約6万人増加 (約44%増)し、生産高も416百万円増加(約6.39%増)となりました。汚泥の廃棄量は増えましたが、一般廃棄物・廃プラ(包装フィルム)等の発生量を抑えることができた結果、原単位を前年比2.44%減となりました。

廃棄物〔高崎工場〕 目標　2022年度比　1　%削減

2023年度 実績
27.19 (kg-CO_2/百万円)
391(ton) / 14,377(百万円) (総量)　(生産金額)

2022年度 実績
29.12 (kg-CO_2/百万円)
379(ton) / 13,015(百万円)

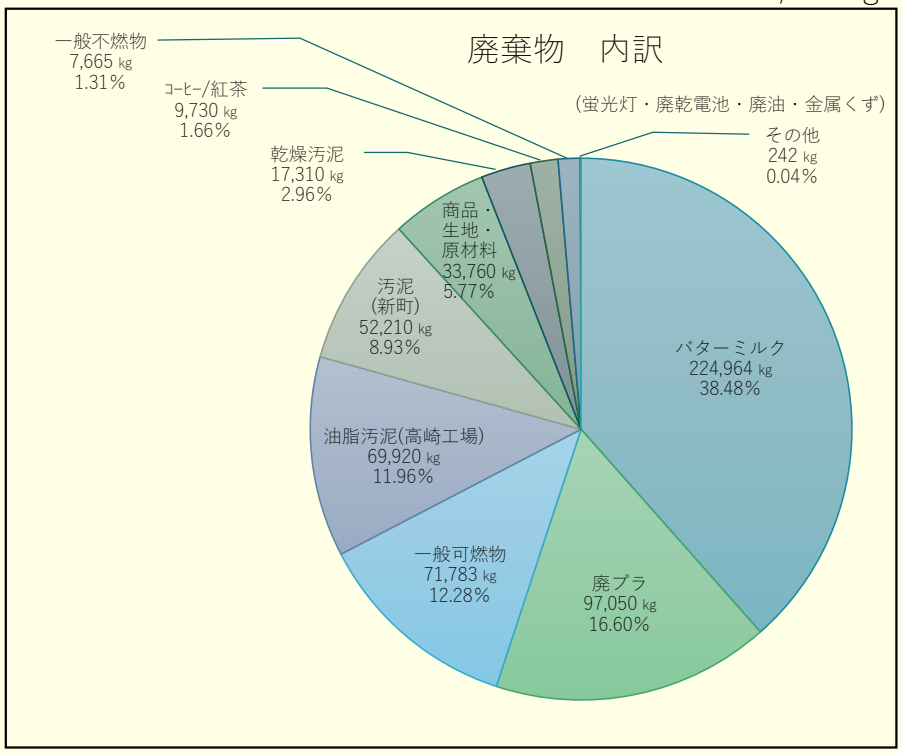
前年比6.62％減

環境経営計画評価事項

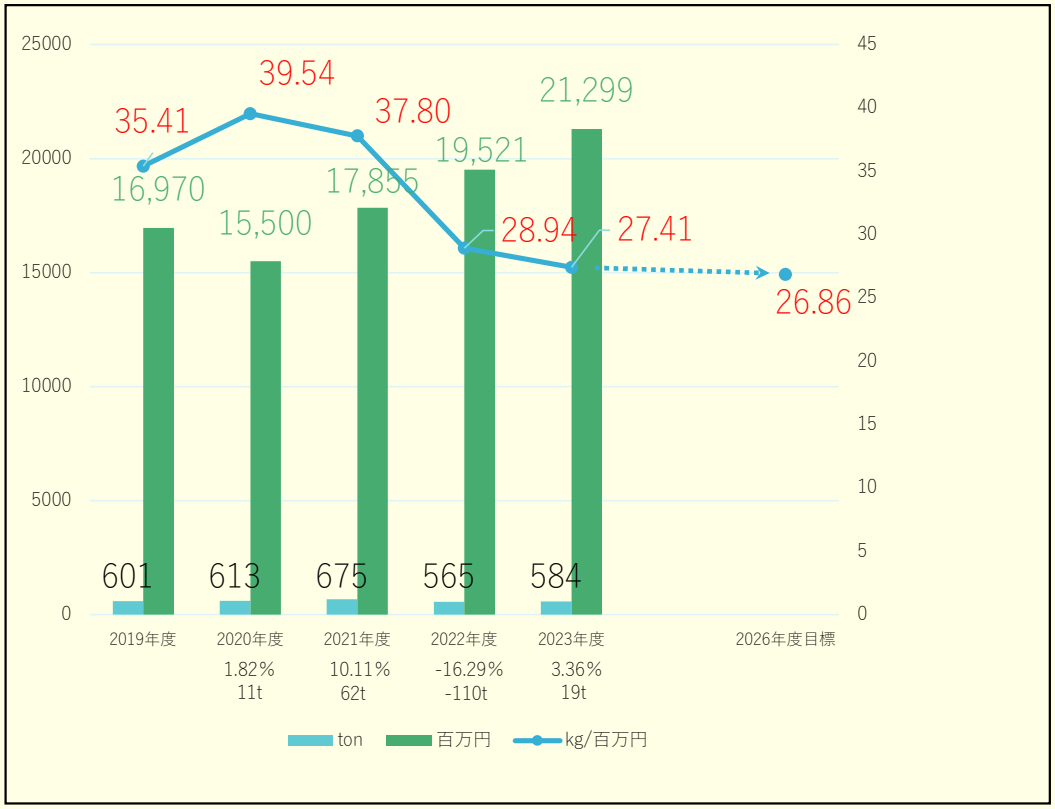
製造ラインの清掃洗浄方法の見直しと除害施設の定期整備を継続的に実施し、異常内容・原因等のデータの蓄積対策することでトラブルの早期発見・処置が出来ました。油脂汚泥は3,390kg削減（前年比95.3%）、乾燥汚泥は2,150kg削減（前年比89%）、蛍光灯は70kg削減（前年比42% ）動植物性残渣1,960kg削減（前年比94.4%）でした。前年度と比較して生産高は1,362百万円増加(約10.46％増)となり、原単位の前年比は6.62％減となりました。

廃棄物〔工場全体〕

584,634 kg



廃棄物と生産高の推移



水〔工場全体〕 目標　2022年度比　0.5　%削減

2023年度 実績

2.340 (㎥/百万円)

49,849(㎥) / 21,299(百万円)
(総量)　(生産金額)

2022年度 実績

2.279 (㎥/百万円)

44,499(㎥) / 19,521(百万円)

前年比2.67%増

環境経営推進項目
①毎月の水道使用量の確認（漏水防止）
②生産現場の洗浄方法改善
③ボイラー等の蒸気漏れ確認
④節水設備の導入検討

環境経営実施・評価事項
生産エリア4Fトイレフラッシュバルブ本体故障（新町本社工場）の影響で、両工場の水使用量は、２０２３年度目標0.5%削減に対し前年対比2.67%増加となりました。

水〔新町本社工場〕

目標　2022年度比　0.5　%削減

2023年度 実績
2.789 (㎥/百万円)
19,311(㎥) / 6,922(百万円) (総量)　(生産金額)

2022年度 実績
2.357 (㎥/百万円)
15,340(㎥) / 6,506(百万円)

前年比18.32%増

環境経営計画評価事項

新町本社工場の水使用量総量については、2022年度に改善した3項目①チョコ配管循環水の保温制御の設定変更、②4階ラスクラインからホワイトチョコライン直結による投入機洗浄作業の削減、③生産設備蒸気用スチームトラップ交換(11ヶ所)によるボイラー水の削減…等の維持管理活動、屋上チラー用ポンプ交換（2機）水漏れ対策を行い節水できましたが、生産エリア4Fトイレフラッシュバルブ本体故障の影響により水使用量は増加となりました。

前年度と比較して生産高は416百万円増加(約6.39%増)となりましたが、原単位の前年比は18.32%増という結果になりました。

水〔高崎工場〕

目標　2022年度比　0.5　%削減

2023年度 実績
2.124 (㎥/百万円)
30,538㎥ / 14,377(百万円) (総量)　(生産金額)

2022年度 実績
2.240 (㎥/百万円)
29,159(㎥) / 13,015(百万円)

前年比5.17%減

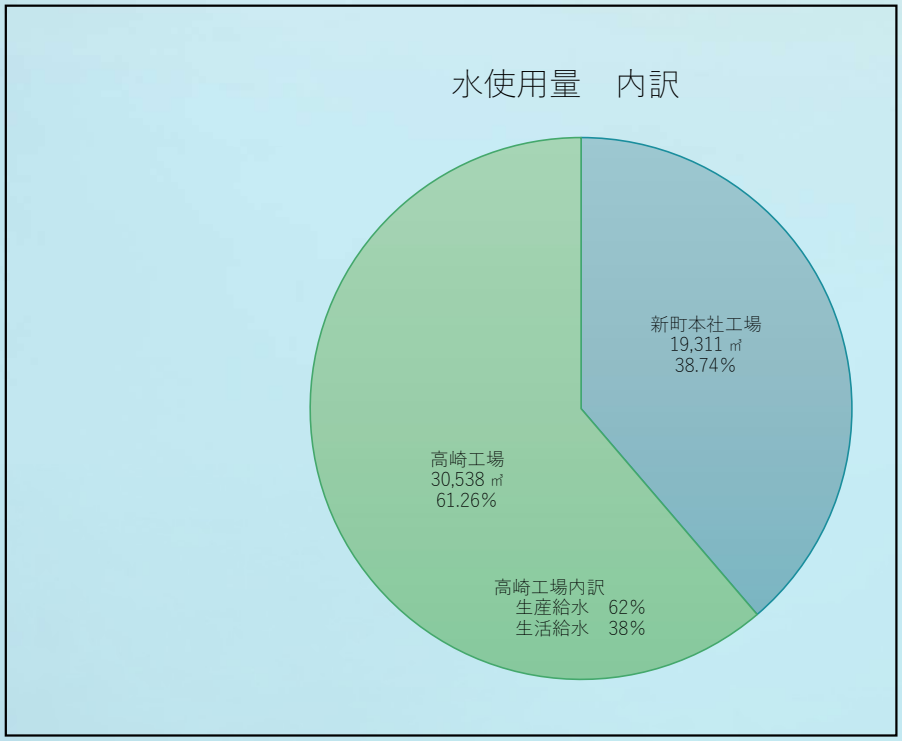
環境経営計画評価事項

生産設備スチームトラップ交換（5ヶ所）、レーヌクリーム仕込み工程のボウル洗浄回数の低減、汽水混合栓の修理(10件)...等、本年度も節水に努めました。

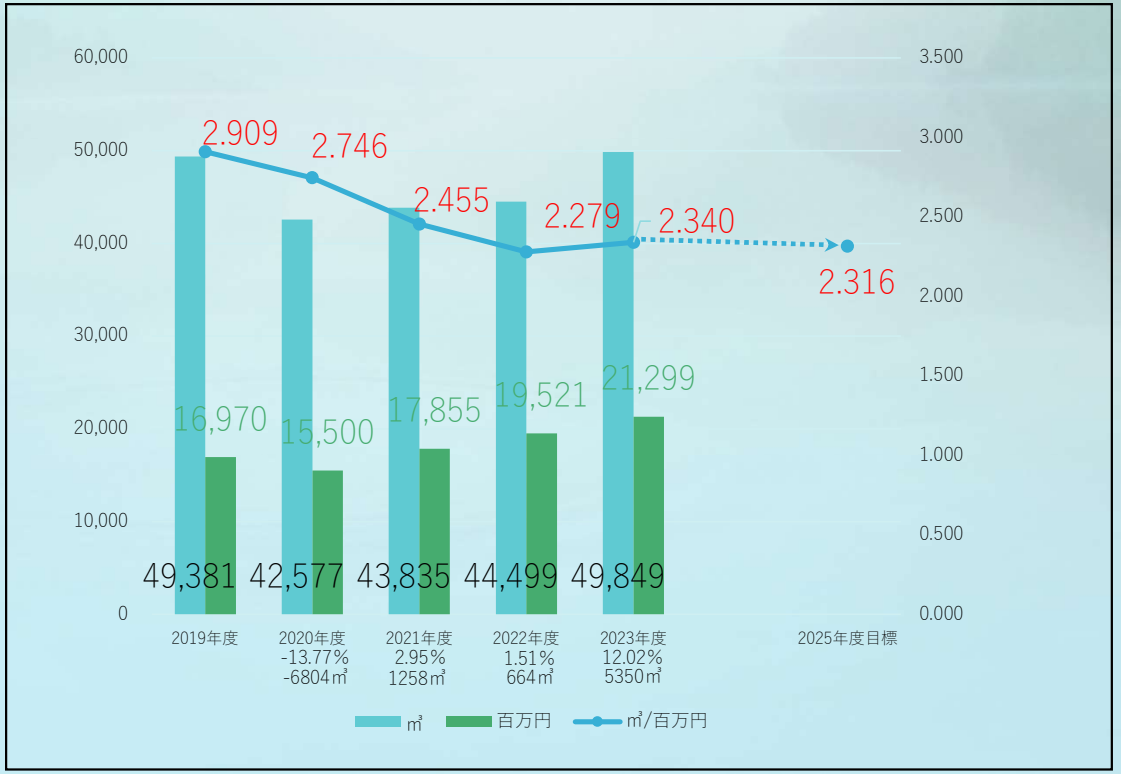
前年度と比較して生産高は1,362百万円増加(約10.46%増) となり、原単位の前年比を大幅に減少(5.17%減)させることができました。

水〔工場全体〕

49,849 ㎥



水使用量と生産高の推移



5.太陽光発電実績

1. 太陽光パネルの仕様

	パネル枚数	発電容量
新町工場	1904 枚	400 kW
高崎工場	599 枚	146 kW
合計	2503 枚	546 kW

2. 年間発電量

	2021年	2022年	2023年
新町工場	470,491.60 kWh	462,038.90 kWh	490,612.50 kWh
高崎工場	158,475.20 kWh	152,353.85 kWh	166,182.00 kWh
合計	628,966.80 kWh	614,392.75 kWh	656,794.50 kWh

3. 全体電力使用量に対する太陽光発電の使用割合

	2021年	2022年	2023年
全体電力量	10,485,632 kWh	10,272,857 kWh	10,500,551 kWh
使用割合	5.99 %	5.98 %	6.25 %

4. CO_2削減量

	2021年	2022年	2023年
全体削減量	277 t	271 t	296 t

6.食品残渣のリサイクル状況

食品残渣のリサイクルについては、農水省への毎年度の定期報告にも載せていますが、2023年度は生産ラインのトラブルの減少及び、残渣の分別見直を行いリサイクル可能な処理業者へ委託可能になり、今年度も**99.9%**となりました。

一方、店舗からの返品による完成品の廃棄は、ほとんど発生しておらず食品製造販売会社として誇りとするところです。農水省定期報告値は、以下の通りです。

リサイクル率の推移

	食品廃棄物等の発生量(t)	食品循環資源の再生利用の実施量(t)	再生利用率
2021年度	697.3	695.5	99.7%
2022年度	707.8	707.1	99.9%
2023年度	673.1	672.7	99.9%

リサイクルの実施量（t）推移

	飼料	肥料	油脂及び油脂製品
2021年度	688.0	7.5	0.0
2022年度	697.1	10.0	0.0
2023年度	662.5	10.2	0.0

7.グリーン購入

工場合計

グリーン購入の推進	基準値 2022年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績	3年後（2026年度）の 目標
	○	現状把握		購入品リストによるグリーン購入の徹底

環境経営計画実施事項	環境経営計画評価事項
①購入品の調査 ②グリーン購入品の選定 ③グリーン購入品の決定	作業着(再生PET製品50%)を購入。手提袋・ダンボール・トレーの一部に再生紙、再生PETを使用。次年度も、グリーン購入を継続する。

本業に関する目標	基準値 2022年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績	3年後（2026年度）の 目標
	△	包装形状の 検討		包装材の軽量化とリサイクル化

環境経営計画実施事項	環境経営計画評価事項
①トレー・フィルムの軽量化 ②包装形状の検討	フィルム薄化、軽量化の検討を行った。ギフト商品の性質上、現状、再生品の利用は難しい。次年度はギフト以外の商品の簡易包装化を検討中。

作業着　再生PET繊維５０％以上

青ビニール袋　バイオマス２５％

8.自然を守るための尾瀬への支援

美しい尾瀬を次世代に守り継ぐため支援(寄付)をさせていただきました。

「写真提供：尾瀬保護財団」

9.社内教育等の実施状況

2012年 7月 1日：社内報にて、エコアクション特集を載せて、社内教育を図りました。
2014年 3月 1日：弊社ホームページにて環境活動レポートを公表し、食品リサイクルの取組を公開致しました。
2014年 4月 1日：社員手帳に環境方針を載せて、全社員に周知徹底を図りました。
2015年 1月27日：eco講習会を実施して、省エネや環境負荷について従業員の意識を向上させました。
2015年 7月 1日：社内報にて、ぐんま緑の県民基金へ寄付を周知致しました。
2015年 8月 1日：社内報にて、高崎工場 太陽光パネル設置を周知致しました。
2017年 3月13日：エコアクション21委員会にて環境活動レポートについて説明しました。
2017年 3月13日：エコアクション21委員会にて群馬県環境基本計画の概要を説明しました。
2017年 6月 5日：生産会議にて、省エネルギー原単位実績値を説明しました。
2017年 6月26日：エコアクション21委員会にて経済産業省エネルギー中長期計画策定を説明しました。
2017年12月 4日：経済産業省エネルギー管理指定工場 現地調査について説明しました。
2018年 7月 9日：エコアクション21委員会にて環境活動レポートについて説明しました。
2018年 7月 9日：エコアクション21委員会にて省エネルギー中長期計画 実施内容について説明しました。
2018年 7月 9日：生産会議にて省エネルギー中長期計画 実施内容について説明しました。
2018年 3月 5日：エコアクション21委員会にて環境活動実績値について説明しました。
2018年10月29日：省エネルギー定期報告について説明しました。
2019年 6月10日：エコアクション21委員会にて、経済産業省エネルギー原単位実績値・中長期計画を説明しました。
2019年 6月17日：生産会議にて、経済産業省エネルギー原単位実績値を説明しました。
2019年11月18日：エコアクション21委員会にて、環境経営実績値を説明しました。
2019年12月 2日：生産会議にて、環境経営実績値を説明しました。
2020年 7月 6日：生産会議・エコアクション21委員会にて環境経営実績値、経済産業省エネルギー原単位実績値について説明しました。
2020年10月26日：エコアクション21委員会にて、当社が実施している環境保全活動について説明しました。
2021年 5月17日：生産会議・エコアクション21委員会にて環境経営実績値、経済産業省エネルギー原単位実績値について説明しました。
2021年11月15日：エコアクション21委員会にて環境経営実績値、経済産業省エネルギー原単位実績値について説明しました。
2022年05月16日：生産会議・エコアクション21委員会にて環境経営実績値、経済産業省エネルギー原単位実績値について説明しました。
2022年11月18日：エコアクション21委員会にて環境経営実績値、経済産業省エネルギー原単位実績値について説明しました。
2023年 5月15日：生産会議・エコアクション21委員会にて環境経営実績値、経済産業省エネルギー原単位実績値について説明しました。
2023年11月20日：エコアクション21委員会にて環境経営実績値、経済産業省エネルギー原単位実績値について説明しました。

10.環境関連法規制の遵守

当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称と判定方法	順守状況
地球温暖化対策の推進に関する法律 【省エネルギー法 定期報告書・中長期計画書 7月31日 報告済】	順法
エネルギーの合理化に関する法律 【省エネルギー法 定期報告書・中長期計画書 7月31日 報告済】	順法
食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律 【食品リサイクル法 定期報告書 6月30日 報告済】	順法
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律 【再商品化委託契約申込書 7月1日 提出済】	順法
下水道法 【高崎市 水質試験検査 適合】	順法
騒音規制法 【騒音測定実施済 適合】	順法
振動規制法 【振動測定実施済 適合】	順法
悪臭防止法 【臭気測定実施済 適合】	順法
労働安全衛生法 【産業医・安全管理者・衛生管理者選任済、安全衛生委員会 開催(毎月)】	順法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 【電子マニフェスト導入済】 ※産業廃棄物管理票交付等状況報告書は、2019年3月より電子マニフェストに切り替えたため、2020年度より報告は不要となりました。	順法

法規制等の名称と判定方法	順守状況
食品衛生法 【JFS-B規格(食品安全マネジメントシステム)認証済】	順法
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 【防虫・防鼠・衛生点検、調査報告会議 実施(毎月)】	順法
消防法 【防火管理者選任済、消防設備点検(2回/年)、消防訓練(2回/年)実施】	順法
工場立地法 【特定施設設置届 届出済】	順法
フロン排出抑制法 【フロン類漏洩点検 実施 (毎月)】	順法
電波法 【高周波利用設備許可書 提出済】	順法

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年3月31日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

11.代表者による全体評価と見直し・指示の結果

２０２３年新型コロナウイルスは、感染症法上「5類」に引き下げられ日常生活も新しいフェーズに入りました。
我が社の2023年度を振り返りますと、１１月のプロ野球球団阪神タイガースの38年ぶり2度目の優勝は大きな話題となり、「グーテ・デ・ロワ 阪神タイガースモデル」は売上向上に大きく貢献となりました。
新商品では、4月に通年商品「グーテ・デ・ロワ マハラジャ」、5月に「グーテ・デ・ロワレーヌトロピカルマンゴー」、１０月に「グーテ・デ・ロワあまおう苺（九州限定）」を投入し、６月・２０２４年２月にはサンリオとのコラボ商品を企画しました。10月には原材料の高騰を受け苦渋の選択として2度目の価格改定を実施しましたが、積極的な販売姿勢を続けた結果、生産高は前年比９．２％増加となりました。
私達が生活する地球環境の危機を株式会社原田として真摯に受け止めており、少しずつでもこの危機に対応すべきと考え、販売においてはお客様にお渡しする手提袋が余剰となりゴミとならない様十二分に留意する販売・接客を目指す事と致しました。
また、貴重な自然と多様な生態系を有する「尾瀬」ですが、美しい尾瀬を次世代に守り継ぐため、公益財団法人尾瀬保護財団へ支援（寄付）を行い、尾瀬の環境保全及び尾瀬保護財団の活動(自然の保全や清掃美化活動等)に活用していただきました。
継続的な環境対策に対する取り組みとして、新町工場・高崎工場の屋上にある太陽光発電により、年間296ｔのCO_2の削減となりました。
二酸化炭素排出量の原単位は、両工場の照明LED化や高効率な設備機械への更新および各部署による省エネ活動の積極的な取組により前年対比6.98％と大幅に下回ることができました。
廃棄物の原単位は、分別管理の徹底等により前年対比5.28％と大幅に下回ることができました。
水の使用量の原単位は、生産現場の洗浄方法の改善・汽水混合栓の修理・スチームトラップ交換等を行いましたが、新町本社工場の漏水等により前年対比2.67％増加となりました。
政府が宣言した2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指し、脱炭素社会の実現に向けて、非化石化・エネルギー転換等も視野に入れ、省エネ対策への積極的な取組み及び一般廃棄物の分別管理の徹底等を継続し、より一層のカーボンニュートラルに向けた活動の推進に努めてまいります。
エコアクション21の取組を始めて12年が経過し、2022年度には経産省の省エネ事業者クラス分け評価制度においてSクラス（2023年度も連続Sクラスの見込）となり、今後も自発的で自律的な組織風土の実現により、未来に活かせる省エネ活動を継続していく所存です。

2024年度は以下の実践策を推進していきたいと考えています。

《次年度の取組内容》
① 2023年度実績に対して、二酸化炭素排出量1％の削減・廃棄物1％の削減・水使用量0.5％の削減
② 新町工場・高崎工場のLED化
③ 一般廃棄物の分別管理の徹底
④ 水使用量の見直し
⑤ 高崎工場西棟・中山道店屋上への太陽光発電設置の検討

太陽光発電パネル

合計ソーラーパネル枚数　2503枚
合計容量　546kW

エコアクション イベント

ソーラーパネル清掃

電気使用量削減効果
2844.45kwh（4月～3月）

新町本社工場
コンプレッサー更新

更新前

更新後

外調機インバータ更新

旧OAHU-2インバーター

新OAHU-2インバーター

高崎工場
外調機インバータ
更新

エアコンの薬品洗浄

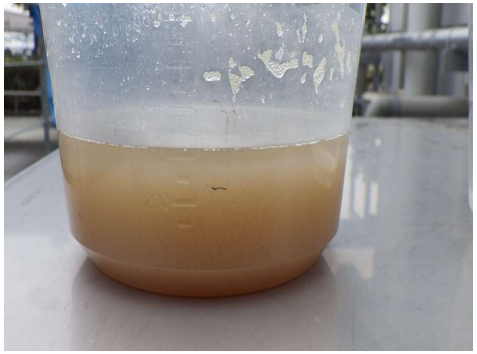
エアコン薬品洗浄

蒸気漏れ調査

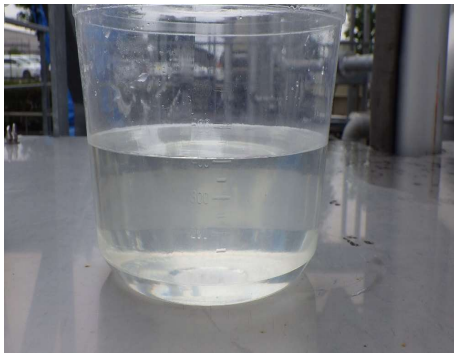
スチームトラップ
蒸気漏れ調査

排水処理施設の管理

工場排水処理　酵母反応除害施設



処理前



処理後

排水除害施設　処理水比較

バターミルクの回収

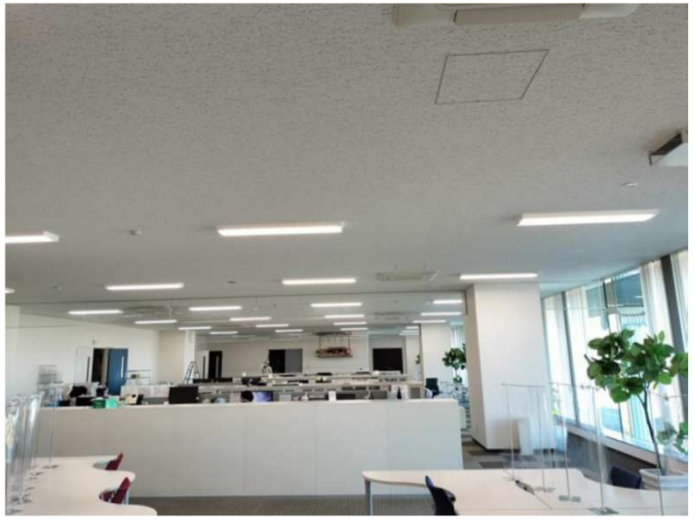
バターミルク回収

洗浄方法の見直し

グーテ・デ・レーヌ
クリーム仕込工程
仕込用ボウル洗浄回数低減

ＬＥＤ化による省エネ

高崎工場　2階役員室・事務所
LED照明に変更



高崎工場　会議室・更衣室
LED照明に変更

新町工場　1階荷受・包装エリア
LED照明に変更

新町工場　3階ラスク・4階チョコラスク
製造エリア LED照明に変更

廃棄物の分別・整理

可燃物・不燃物

金属・ビン・硬質プラ等

廃棄物の分別・整理

廃プラ・ベーキングロール

パン屑・段ボール

食品残渣のリサイクル状況

汚泥類➡肥料化

動植物性残渣➡飼料化
（バターミルク）